

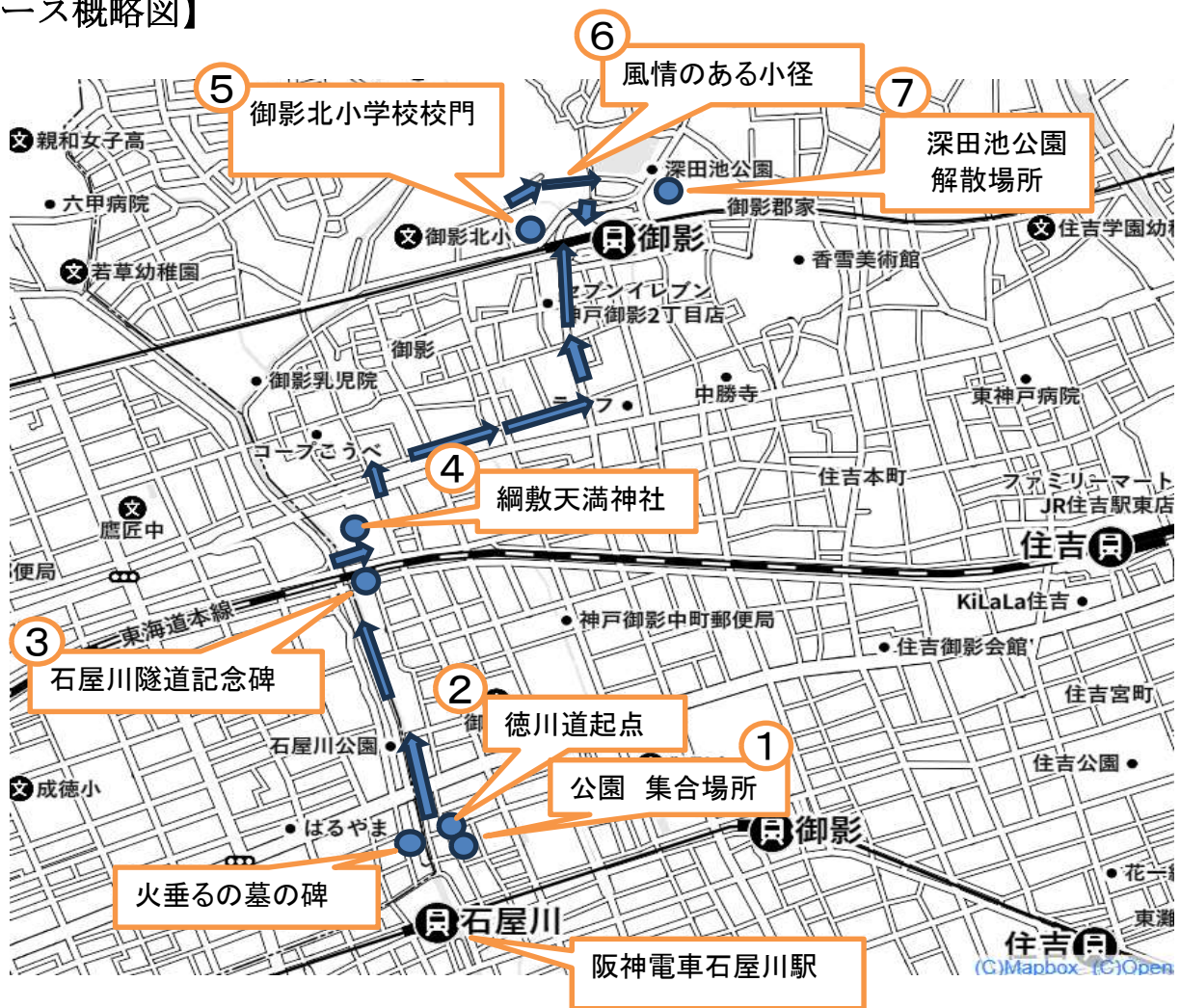
# 歴史散歩コース

実施日 2026年5月29日(金)  
企画 東灘区  
コース 阪神電車石屋川駅～  
阪急御影駅  
距離約3km

## ” 御影の町今昔”

- ◇ 集合場所： 阪神電車石屋川駅山側（公園内）
- ◇ 集合時間： 午前10時
- ◇ 昼食場所： 不要です
- ◇ 解散場所： 深田池公園
- ◇ 講師： 吉永先生
- ◇ コース
  - ①石屋川公園 部長・吉永先生挨拶⇒②徳川道起点⇒
  - ③石屋川隧道記念碑④綱敷天満神社⇒⑤御影北小学校（御影城址？）
  - ⇒⑥風情のある小径⇒⑦深田池公園：吉永先生講話⇒ 解散

### 【コース概略図】



※歴史散歩のルールを守りましょう！！

- ◇ゴミは各自で持ち帰りましょう
- ◇交通ルールを守って歩きましょう
- ◇講師の説明は静かに聞きましょう
- ◇決められた時間は守りましょう



神戸老眼大学会  
歴史散歩部



『火垂るの墓』は野坂昭如の短編小説  
野坂自身の戦争体験を題材とした作品で、神戸市と西宮市近郊を舞台に、戦火の下、親を亡くした14歳の兄と4歳の妹が終戦前後の混乱の中を必死に生き抜こうとするが、その願いも叶わず栄養失調で悲劇的な死を迎えていく姿を描く。愛情と無情が交錯する中、蛍のように儚く消えた2つの命の悲しみと鎮魂を独特の文体と世界観で表現された小説、ただ何故この場所に『火垂るの墓』があるかは定かでない。(対岸の公園内にあります)

2



徳川道とは、幕末期開港にともなって、外国人と武士らとの衝突を避けるために作られた道です。

外国人居留地を迂回して六甲山を通るルートで作られ、石屋川の起点から六甲山を通り明石大蔵谷までの約34kmの道です。

3



旧石屋川隧道は、日本で最初の鉄道トンネルとして建設されました。当時から石屋川が天井川を形成していたため、困難な川底トンネルを掘らなくてはならず、イギリス人技術者の設計・監督により明治4年7月に完成。この隧道は石屋川の下を横断し、延長が61mありました。工事方法は、川の流れを木製の仮水路で変え、川底を掘り下げ、レンガを積み重ねてトンネルを作りながら川を元に戻す方法で作られたと記載されています。

4



別雷大神(わけいかづちのおおかみ)が天神山におまつりされていたことに始まり、聖徳太子が御影石を発掘され蒼稻魂大神(うかのみたまのおおかみ)をおまつりされました。又菅原道真公九世の孫、菅原善輝公が大宰府の神官に任ぜられ、筑紫に赴く途中、道真と由緒のある当地に社を建立し、綱敷天満神社と名づけて、別雷大神と蒼稻魂神(うかのみたまのおおかみ)を合わせて祀ったとされています。

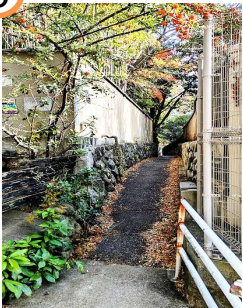
5



### 平野城

東灘区の御影山手にあったお城で、別名御影村城。写真は御影北小学校の校門付近の石垣です。1346年赤松氏の家臣であった平野忠勝によって建てられた。推定地は現在の阪急御影駅から神戸市立御影北小学校一帯といわれ深田池は城の外堀と言われています。

6



一人歩ける石垣塀の道

7



### ふかだ いけ こう えん 深田池公園

深田池は、もともと農村時代のため池である。深田池の名は、「フケ田」(ぬめぬめした田、泥深い田)になっていたところへ築かれたため池であることからきていると思われる。付近には同様のため池がいくつか造られており、その1つは深田池に対して浅田池と呼ばれていた。この湿地は、南北朝時代の武将赤松円心の家臣平野忠勝の居城であった平野城の東の防衛線として機能していたといわれている。その平野城は今ではその面影さえうかがえないが、深田池一帯は公園に全面改修され、付近に残された閑静な散歩道とともに区民の憩いの場となっている。